

中津川市中山道歴史資料館

中津川市の中津川中山道歴史資料館収蔵の中津川宿回家から発見された古文書には、和宮降嫁の行列や天狗党の往来のようを示す古文書、幕末の混乱期の重要な出来事の一つである「薩長同盟」の密談を伝える文書など幕末を駆け抜けた人々に関する貴重な資料が大量多く存在します。

資料館営業時間
午前9時30分から午後5時
休業日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
年末年始

入場料
小中学生：無料
大人 330円
団体 270円
年間パス 1620円

Tel 0573-66-6888
http://nakasendo.n-muse.jp

馬籠宿本陣 / 藤村記念館

旧中山道の馬籠宿は、明治28年と大正4年の2度の大火で石畳道と枳形道以外は全て焼失しました。後の本陣跡は、日本の近代文学を代表する偉大な小説家である島崎藤村（1872-1943）の生家でもあります。また、藤村記念館では、藤村の作品や書画が展示され、その数約5000点にも及びます。馬籠を舞台とした藤村の長編小説「夜明け前」には、藤村の父がこの本陣で、幕末から明治初期の動乱期（1850～1880年）までの苦悩の日々が描かれています。

開館時間
9:00～17:00（4月～11月）／9:00～16:00（12月～3月）

休館日
12月～2月の毎週水曜日

入場料
大人 500円
小人 100円

Tel 0573-69-2047
http://tosen.jp/publics/index/29/

岩村

レンタサイクル 恵那 岩村
tel:0573-43-3320
9:00-16:00
¥1,000

凡例
Information
レンタサイクル
駐車場
学校
コンビニエンスストア
美術館
歴史的建築物
国道

岩村城跡
大井宿
中津川宿
馬籠宿
落合宿
苗木城跡

周辺観光情報

岐阜県

中津川・恵那地域は岐阜県の南東部に位置しています。日本のほぼ中央に位置する岐阜県は、北は飛騨地方、南は美濃地方の2つの地域に分かれています。飛騨地方は、標高3,000mを超える雄大な美しい山々が特徴です。美濃地方の特徴は、広大な平野道と清らかな川の流れています。このような地域間のコントラストが、岐阜には他の地域にはない多彩な景観や文化を育んでいます。

岐阜県には、高山をはじめとする県内の「小京都」と呼ばれる古い町並みや歴史地区から、織田信長が住んでいた岐阜城まで、「日本的」な場所や風習がたくさんあります。信長が日本を一つの国に統一するための拠点としたのが岐阜です。また、世界遺産の白川郷や伝統的な織物・約りなど、岐阜には「和」の要素がたくさんあります。温泉は豊富で、奥飛騨温泉郷地域には日本一の露天風呂があり、自然の温泉は日本でも有数の温泉地です。岐阜に来たら、自然の風景を眺めながら、心も体も癒される温泉に浸かってみてはいかがでしょうか。

下呂温泉

下呂市は、中津川・恵那地域の北側に位置し、下呂温泉は日本三大名湯の一つとして有名です。泉質は無色透明でほんのりとした温の香りがあり、裏にめらかな肌ざわりの温泉です。入浴すると身体が大変温まるので血行が良くなり、疲労回復や健康増進に効果があるため「健康の湯」といわれています。また、泉質がアルカリ性単純泉のため肌にとてもやさしくツルツルした肌ざわりになるので、「美人の湯」とも呼ばれています。温泉街の散策に疲れたら、足湯で一休みすることも下呂温泉の人気の一つです。

木曾渓谷

中津川・恵那地域は木曾谷の玄関口です。木曾は長野県南西部に位置しています。旧中山道の面影が現在も残る歴史の里。木曾山脈に挟まれる細長い谷底平野に木曾川が流れる木曾谷には、江戸と京都を結んだ中山道の宿場町で栄えたほか、木曾は名産の木曾槍で発展した地域でもある。また木曾川の急流が木曾川に、奇岩が続く遊覧の床や、森林浴発祥の地である赤沢自然体養生などの自然の景色も楽しめます。

多治見市 / 土岐市 / 瑞浪市

近隣の多治見市・土岐市・瑞浪市は、陶磁器で栄えた地域で、美濃焼は全国的でも有名な焼き物の一つです。長い歴史と伝統を持つ美濃焼は、食器類の生産量が全国シェアの約50%以上を占めています。この3つの街を散策すると地域には多くの陶器工房、陶磁器博物館、専門ショップがあり、多くの飲食店でも地域の陶磁器が使われています。

豊田市

豊田市は、中津川恵那地方の南に位置しています。豊かな自然に囲まれた産業と歴史のある街です。世界最大級の自動車会社の名を冠し、日本の産業の中心地である豊田市ですが、一年を通して素晴らしい景色と絶景に恵まれています。

凡例
温泉
道の駅
キャンプ場
サイクリングコース
レンタサイクル
酒蔵
歌舞伎座
観光ご案内
警察署 (交番所)
病院
市役所
分岐点
花の観光地
紅葉の名所
高速道路
国道
中山道
国道番号
JR中央線
明暗鉄道
市街地の境界
美術館

大きな山城跡めぐり

■ 苗木城跡

中津川市にある苗木城跡は、山頂の巨岩を利用して積まれた石垣が特徴的で、敷地の確保が困難なため、建物の構築方法に創意が使われており、自然の地形を有効に生かして築かれた珍しい山城です。また、木曾川北岸の小高い山に築城された葛田及び近世の城郭跡です。川面から天守までの標高差は約170mあります。展望台からは中津川市街一望でき、すぐ下には木曾川、正面には恵那山の美しい風景が広がっています。築城した遠山家の守り神は八大龍王と言われ、八大龍王と言うのは仏教守護の八体の龍王（龍神）を言います。明治以降、現在の場所に据えられたという事ですが、苗木城の城内には八大龍王の祠が現在も残っています。また近くには苗木遠山資料館があり魅力ある文化や歴史を紹介していますので、是非お立ち寄りください。

■ 岩村城跡

岩村城は、大和の高取城(奈良県)備中の松山城(岡山県)と並び日本三大山城の一つに数えられる名城。城は江戸幕藩の府城の中でも最も高い所(標高177m)に築かれ、高低差180mの天險の地形を巧みに利用した要害堅固な山城で、霧の湧き易い気象でも城造りに活かされており、別名「霧ヶ城」とも呼ばれています。1185年(文治元年)源頼朝の重臣「加藤景康(かとうかげかど)」がこの地の地頭に補せられ創築されたから。鎌倉・室町の300年間、戦国の100年間、更に江戸期の300年間に亘り城主が連続と続き、明治に至り廃城令で廃城されるまで、連続と存続しました。700年間に及ぶ城の歴史は、日本の城史にも例を見ないものなのです。信長の叔母は「女城主」と呼ばれ、城主として武田勝から到底最後まで城を守ることができないと悟り、秋山信友の提案を承諾。家臣や領民を守るこの引き換えに政略結婚の道を選んだと伝えられます。また岩村城の本丸虎口の大規模な石垣は「六段壁」と呼ばれ、当初は一段の高石垣でしたが、崩落防止のために補強を繰り返した結果、六段にもおよぶ石垣となっている。歴史博物館では、それらの技術に関する資料を復元しています。城下町には2つのエリアに分かれています。岩村川の北側に武蔵屋敷、南側に商家屋敷があります。城下町の北側には、昔ながらのナマコ模様の壁や格子などが見られます。

中山道

中山道は江戸時代の五街道のひとつで、江戸日本橋から京都三条大橋までの全長534キロの道のりで、この地は木曾を通るので「木曾路」とも呼ばれています。江戸時代の参勤交代で人々が行き交い、当時の宿場は多くの旅人の疲れを癒す休憩場所として利用され発展を遂げた。中山道には69の宿場町がありましたが、中津川・恵那の地域には43番目から馬籠宿、落合宿、中津川宿、大井宿の4宿の宿場町がありました。今もなお町のあちこちには、当時の宿場を遺す建築物や景観が多く残っています。また現在では、中山道を歩くトレッキングも観光の一つとして人気を博している。

落合宿
馬籠宿
中津川宿
大井宿

苗木

12.0 km サイクリングコース
約2時間コース
2.0 km 散策コース
約1時間コース

凡例
Information
Information
駐車場
学校
コンビニエンスストア
美術館
歴史的建築物
国道

大井宿
中津川宿
大津宿
大井宿
中津川宿
馬籠宿
落合宿

浮世絵の写真：歌川広重、深斎栄泉 “木曾海道69次” (1835-1838)

中津川・恵那

Nakasugawa・Ena
四季折景

Nakasugawa-Ena Tourism Council

中山道 Nakasendo Map

QRコード

恵那駅
TEL 0573-25-4058

中津川駅
TEL 0573-62-2277

中津川観光案内センター
TEL 0573-62-2277

手荷物配達サービス
料金 ¥800 (税込) / 手荷物1個当たり

馬籠観光案内センター
TEL 0264-57-3123

馬籠観光案内センター
TEL 0573-69-2336

アクセス

東京から電車で2.5時間

東京駅	50分	成田空港	
	15分	新宿駅	
		150分	松本駅
		75分	松本駅
	10分	恵那	
	40分	中津川	
	30分	名古屋駅	
	35分	中部国際空港	
	15分	京都駅	
	50分	新大阪駅	
		関西空港	

